

「自己の生き方についての考えを深めること」

を重点とした道徳科の授業づくり

第6学年 道徳科学習指導案

1 主題名「人格の尊重と友情、協力」（内容項目：B-10 友情、信頼）

2 教材名「言葉のおくりもの」（出典「新訂 新しい道徳6」東京書籍）

3 主題設定の理由

友達関係は、児童にとって重要な人間関係の一つであり、学校生活の充実を左右することも多いと考える。また、他の児童とよりよい友達関係を築くには、互いを認め、理解し、協力し合うことにより、信頼や友情を育むことが大切だと考える。第二次性徴期に入る時期においては、性別に関わらず、多様な他者と関わる中で、互いの人格を尊重し、理解し合える関係を築こうとする実践意欲を育てたい。

本学級の児童は、男女関係なく関わることができる一方で、特定の児童との関係に限られたり、自分本位な行動をしたりする姿が見られたことから、誰に対しても、相手の立場になって考えたり、相手の気持ちを推し量って行動したりすることに課題があると考えられる。そのため、同内容項目を取り扱った授業では、「友達と理解し合う」ことを主題に学習を行った。

本教材は、落とした消しゴムをすみ子に拾ってもらった一郎が、たかしにすみ子と仲の良いところをからかわれたり、周りに言いふらされたりすることを嫌がり、すみ子を避けようとする。小さなことにこだわらない明るい性格のすみ子は、たかしの失敗を許し、一郎の誕生日には、素晴らしい「言葉のおくりもの」をするという教材である。同性、異性に関わらず、人格を尊重し、よりよい人間関係を築くことの大切さに気付くことができる教材である。

4 本時のねらい

同性・異性に関わらず、信頼を基に、正しい理解と友情を育てる大切さに気付き、誰に対しても、人格を尊重してよりよい人間関係を築こうとする道徳的実践意欲を育てる。

5 本授業のポイント

- ① 児童同士が議論を深める場の確保、工夫（討議の仕方、児童の意見を可視化する板書）
- ② 考えを深める問い返し（児童同士の議論、討議の柱を支える発問）

6 本時の展開

	学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の発言	留意点や評価 等
導入	<p>1 本時の主題に関わる問題意識をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前に学習した教材「ばかじゃん」を振り返りましょう。どんなことを考えましたか。 <ul style="list-style-type: none"> ・相手のよさを認める ・高め合う関係にしたい ○ 自分の考えに変化はありますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・変わっていない ・変わった（言い合えるようになった、相手の気持ちを考えるようになった） 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が学習の主題を意識できるようにする。
展開	<p>2 教材を読み、主題について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 一郎はどうすれば良かったのでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・たかしを気にせず、すみ子と普段通りに接する ・先生に相談して、たかしと話す機会をつくる <p>3 議論を通して、何が問題だったか議論する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ この話を読んで、何が問題だったのでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・男女が仲よくすることをからかうこと ・一郎が、すみ子に八つ当たりしたこと ・たかしと信男が、一郎をからかったこと <p>(問い返し)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ なぜからかうことが問題だったのでしょうか。また、それはどうしてですか。 ○ 男子同士なら、冷やかしたのでしょうか。 ○ すみ子が大事にしているものは何でしょうか。 <p>4 よりよい人間関係を築くために必要なことを議論する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ よりよい人間関係を築くには、何が大切でしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・男女関係なく接すること ・互いの考えを尊重すること ・信頼関係を築くこと <p>(問い返し)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 信頼するためには、何が必要でしょうか。 ○ これまでの自分は、男女関係なく接することはできていたのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師がファシリテーターとなり、児童の活発な意見交流を促すとともに、必要に応じて問い返す。 ・議論の中で、同性、異性に関わらず、信頼を基に、正しい理解と友情を育てることの大切さに気付かせるようにする。 ・議論の中で、「男女問わず」「互いを尊重する」などの児童の考えを引き出しながら、誰に対しても、人格を尊重してよりよい人間関係を築くことを考えさせる。
終末	<p>5 学習を振り返り、自己の生き方について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 今日の学習で大切だと学んだことは何でしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・誰にでも平等に接することが、信頼関係をつくるために大切だということ ・相手の気持ちを想像したり、相手の立場になって考えたりすることで、相手を理解しようとする ・互いを尊重することが、友情につながる <p>(問い返し)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 登場人物と自分の生き方を比べてみると、どんなところが、同じだったり違ったりしましたか。 ○ これまでの自分の生き方を振り返り、これから何を大切にしていこうと考えましたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同性、異性に関わらず、信頼を基に正しい理解と友情を育てることの大切さについて、多面的・多角的に考えているか。 ・道徳的価値の理解を自分との関わりで深めたり、自分自身の体験やそれに伴う感じ方や考え方などを確かに想起したりすることができるようにするなど、特に自己の生き方についての考えを深めることを強く意識させる。

